

事業名

京西中学校区 故郷を美しく！安全な街に！

目標

子どもたちの故郷を過ごしやすい環境に、そして、安心して過ごせる安全な街に**1. 取組の視点**

京西中学校・六条小学校・伏見南小学校・六条幼稚園・伏見南幼稚園の5つの校園に共通の課題に取り組む。その一つが環境改善で、地域住民からボランティアを募り各校園の除草作業や環境整備を実施していく。また、安全で安心な学校生活が送れるように登下校の巡回や体育大会などの行事の見守り隊などを行う。各校園の取組に対して、地域にボランティアを募り協力した。

また、各校園と十分な連絡・連携を取りながら、各校園が必要としていることを明らかにし、協力するだけでなく学校と地域との架け橋となり、地域が学校を知り、学校が地域のひとつの拠点となるように取り組むことにした。

2. 取組の概要

◎環境整備事業

8月21日～10月13日（5校園で実施）



京西中学校区の5校園すべてで環境整備事業を実施した。実施するにあたって、草刈機やブロワーなどを地域の予算で準備した。また、ボランティアを多く募るために5校園の日程などを載せたチラシを作成し、校区の全戸に回覧した。美化作業の当日、チラシを見た地域の方に参加していただき、広報活動の大切さを実感したと同時に、地域の力に感謝した。その他にも、各校園独自で

実施している花いっぱい運動や栽培活動などの支援を行った。

◎安心・安全な街づくり



ボランティアによる幼稚園児の引率、スクールガードや地域の巡視、体育大会・運動会の当日には校門での見回りなど、多くの地域の方々の協力を得て子どもたちを見守った。

◎各校園のニーズに合った支援活動

中学校オープンスクールのゲストティーチャーの招聘活動、小学校の読み聞かせ活動、幼稚園の木工づくり・昔遊びひろばなど各校園の活動に対して支援活動を実施した。

3. 成果と課題

中学校区の5校園、地域と学校、学校と地域の方々の繋がりは徐々に深まりをみせ、信頼関係が構築され、ひとつひとつの事業が充実してきている。しかし、一方で広がりという点においては、まだまだ課題を残しており、特定の地域の方々にとどまっているのが現状である。

課題を克服するために、「本年度の取り組みのまとめと来年度に向けて」と題して、PTAの委員会や地域の各種団体の会議において報告会を実施させていただいた。来年度は、一層、広報活動の充実を図り、地域の方々に地域教育協議会を認知していただき、多くのボランティアの支援を得て、地域の拠点となる学校を支えていきたい。

事業名

きたえよう！身体 みがこう！こころ

目標

たくましい身体と豊かな心を育て、共に支え合い、共に生きる学校

1. 取組の視点

豊かな自然と、唐招提寺や薬師寺などの歴史的遺産に囲まれた環境の中で育ち、素直で人なつこい生徒が多い。一方で、コミュニケーション能力や調整力、他者への思いやり、そして、自己実現に向けて継続的な努力の積み重ねができきれない生徒がいることも事実である。

この現状を克服していくために、なかまや地域の方々から多くのことを学び、豊かな人間性を育むと同時に、自らも地域や社会と積極的に関わり貢献できる生徒を育てていく。特に地域の方々から学ぶために、さまざまな年齢・職業・幼小を含む地域の各種団体の方々を本校を訪れる機会を多くつくり出すと共に、共に活動できる事業を展開していく。

2. 取組の概要

◎ 第2回 京中オープンスクール

10月23日(土) 実施



1・2年生は地域の方々を、3年生は高校の先生方を招いて公開授業を行った。特に1・2年生では、人生の先輩として、多様な体験や経験をされてきた方々に授業をしていただき、匠の技や専門的な立場からの話や生き方の話を通して、子ども一人ひとりの心に響き、感動を与えるような授業を展開していただいた。生徒たちは、普段の授業では経験できない、ゲストティーチャーの話を

熱心に聞いていた。また、午後からは、露の新治さんの「新ちゃんのお笑い人権高座」を聞き、人権について真剣に考えた。

◎ プロジェクト「ひまわり&チューリップ」



これまでの花壇に加え、荒れ地を整備し、地域の方々・保護者・生徒有志で夏にはひまわり・春にはチューリップが一面に咲くように植栽した。冬の寒い時期でも土の中の球根がすくすくと成長しているのを想像しながら、みんな楽しみにしている。

◎地域ボランティア清掃活動

地域の方々や保護者と共に、通学路や駅や唐招提寺などのボランティア清掃を実施した。地域の方々や生徒との会話がはずみ、学校や生徒のようすを地域の方々にもよく理解していただいた。

3. 成果と課題

学校では、体育大会の校門での見回りなど、地域の方々の協力により、生徒と関われる時間が増えて良かった。地域の方からは、「生徒の日々の姿をみることで良かった」「さまざまなボランティアに楽しんで参加することができた」という感想をいただいた。しかし、まだこの事業(地域教育協議会)の認知度は低くボランティアは特定の方々に限られている。今後、取り組みの充実と共に広報活動に一層の力を注ぎ、多くの地域の方々を知っていただき、多くのボランティアに協力していただけるようにしていきたい。

事業名

本が大好き六条っ子

目標

本を大好きになって本をたくさん読む子を育てよう**1. 取組の視点**

六条小学校の児童が本をたくさん読んで、心豊かで勉強が好きな子を育てていきたいという願いを持っている。今回の地域が決める学校予算で、地域を巻き込んで読書活動を広める大きな機会ができたと考えた。

地域もPTAをはじめ、PTAのOB、つながり広場、ふれあい夢スクール等、読書を広めていこうとする企画に協力してくれる人は比較的多い。自分たちの手で、本の好きな心豊かな子どもたちを育てていこうとする雰囲気がある。

低学年にも高学年にも絵本をたくさん購入して教室に置きたいと考えている。たくさんの絵本が世に出ているが、読む人の心に強くしみ込む絵本は大人でも十分感動できる良い絵本をたくさん揃えていきたい。

2. 取組の概要

まず、本をたくさん購入して、本を長持ちさせるために図書ボランティアを募集するという計画でこの事業を進めた。ボランティア募集のチラシを家庭数配布し、保護者だけでなくPTAOBの多くの方にボランティア希望を出していただいた。途中からに参加していただいた方もあり、図書ボランティアの人数は25名になった。

図書ボランティアの作業は、購入した本が450冊、他団体から寄付していただいた本が50冊、あわせて500冊の新しい本にブックカバーを掛け

る計画を立てた。放課後、図書ボランティアで計5回集まり、ブックカバーの作業をしてもらった。



それにより、新しい本すべてにブックカバーをかけることができた。また、購入した本は、教室で読めるように配当した。

同時に、読み聞かせボランティアも募集した。読み聞かせは、PTAとPTAOBの皆さん、ふれ合い夢スクールで来ていただいている藤の会や奈良お話の会と教職員で行った。読み聞かせは、低学年、高学年に分けて計5回取り組んだ。子どもたちの目が輝き、感動しながら聞いていた。児童にもボランティアの方にもとても有意義で効果的な時間になった。

3. 成果と課題

ブックカバーのついた本を教室に配当すると朝読書の時間や読書週間の時間が充実している。読書意欲が高まった。また、学級の係活動もしっかりと取り組んでおり、いろいろな所で児童が育っている。

絵本の読み聞かせは、学年を問わず子どもたちにとっては楽しいものとなり、図書室の絵本が多く借りられている。

図書や読み聞かせボランティアは6年生の保護者が多かったので、次年度もお願いしている。ボランティアを多く集めるのが次年度の課題だと考えている。

事業名

生き物大好き六条っ子

目標

心優しく生きている物すべてが好きと言える子を育てる**1. 取組の視点**

六条小学校では、今年度耐震と進入路工事が入った。そのことにより、今まで六条の自慢であった藤棚を含む「希望の庭」がなくなった。

また、飼育小屋ではうさぎがいくつも穴を掘り始め環境整備が難しくなってきた。

そこで、今まで育ててきた生き物を大切にすゝる気持ちが薄れてしまわないように、「生き物大好き六条っ子」として次のことをねらいにした。

- ① 学年で色のちがうパンジーの花をプランターで育て、自分たちで植物を大切にしていこうとする気持ちを育てる。
- ② 飼育小屋で生活するウサギと鶏の床を土からセメントにしたり、土の部分を横に作ることで、掃除をしやすくしたり生き物が共存しやすい環境にする。

2. 取組の概要

まず、自分たちで花などの植物を大切にしようという気持ちが持てるように、パンジーの世話を秋から始めた。児童は水を切らさないように一生懸命世話をしている。現在は花摘みを経験させ、さらにきれいな花が咲くように意識をさせている。今後はパンジーだけではなく、花壇に咲いている花や育てている野菜を観たり、草引きをしたり水やりをしたりすることが自然にできるように意識を高めていきたい。

飼育小屋の環境整備だが、土間のセメント塗り

やペンキ塗りを夏期休業中に職員作業で取り組んだ。また、1羽だったウサギを2羽に増やし飼



育委員会の児童がさらに意欲的に掃除ができるようにした。

奈良県獣医師会から講師として来てもらい、動物と人間の違いや、動物の生態や命の誕生などを学年に応じた講演していただいた。それぞれの生き物の特徴を知ることができ、生き物を大切にしようとする気持ちを養うことができた。

3. 成果と課題

パンジーを育てることによって、花壇で植えてあるものや木々に興味を持つようになった。花壇の前に植えたチューリップの成長を観たり、木の名前を覚えようとしていたりしている。

また、児童の取組を見て自治連合会から40周年記念として「ナラノヤエザクラ」を寄付していただいた。

獣医さんによる生き物の講演は、どの学年もとても好評であった。児童からの質問をまとめ、担任と獣医さんが十分な打ち合わせを行ったことにより有意義な講演につながった。

課題は、地域の方とのつながりをどのようにしていくかである。今回の獣医さんの話や飼育小屋の改造の時は地域の方にコーディネートしてもらったり相談にのってもらったりした。植物を育てることにどのように関わってもらえるかを次年度考えていきたい。

事業名

いきいきワクワク「育ち」のステージ

目 標

子ども達の育ちのサイクルを学習、環境整備の両面からバックアップする**1. 取組の視点**

本事業を行うことにより、地域に開かれた学校づくりと、児童の健やかな成長を目指して取り組んだ。地域の様々な資産を使い、日頃にはできない体験活動の取組やゲストティーチャーを招き、貴重な体験談を聞く活動を通して、子どもたちの知識と体験を増やすことを目指した。また、PTA、地域の協力により児童の登下校時の安全確保と、学校の環境整備に努めた。これらは児童にとって安心して心豊かに学べる環境をつくることになる。

2. 取組の概要

登下校における安全確保のための立ち当番は、年間を通して、保護者、地域、教職員が、児童の下校時刻にあわせ計画的にポイントに立ち見守っている。



学校の環境整備については、地域のシルバー人材センターの方と、PTAが年数回校庭の草刈りを中心に環境整備に努めている。また、ボランティアの方々が、校庭の花壇の整備に来てくださり、花植えをしてくださっている。

11月の土曜参観後、「ふれあいの日」をおこない、地域、PTAの協力の下、有意義な時間を



過ごした。また、地域とPTAが中心になって年間5回の休日に様々なイベントを企画している。映画会、ドッジボール大会、正月飾りづくり、とんどなど、児童の体験の幅を広げるイベントとなっている。

1年間を通じて、地域の方に田んぼを提供していただき米づくりを指導していただいた。また、干し柿作りも行っている。これらは、児童にとって貴重な体験活動になっている。また、講師を招き、職員やPTAも研修を行って知識の幅を広げた。児童には、様々な方面からのゲストティーチャーを招き、人権学習を初めとして、普段の授業の中では、聞けない話・できない体験をすることができた。

3. 成果と課題

地域の方の協力と取組により、児童の安全は守られ、様々な体験の場を与えられ、安心して児童は育っている。また、学習への地域の資産や教材の提供、ゲストティーチャーとしての関わりにより、児童は体験を深め、知識を深めている。このように多くの成果を上げることができた。今後、さらなる地域と学校・PTAの協力の体制づくりが望まれる。

事業名 子どもたちが夢中になって生き生きと遊び続ける環境づくり

目標 子どもが興味・関心をもち、自発的に主体的に遊びに取り組める環境を整える

1. 取組の視点

園の施設は見通しが悪く、各保育室から運動場が見えない。また、保育室と運動場の間に道があり、子どもが保育室と運動場を自由に行き来するのは難しい状況にある。そのため、運動場の環境を整備し、子どもが主体的に取り組む遊びの充実に取り組んだ。

2. 取組の概要

(1) 木工でつくろう会

・実施日 平成22年9月13日

地域ボランティア12名と4歳児・5歳児が、机4台、長椅子8脚を作った。子どもたちは、木工道具に興味を持ち、やってみたいと気持ちが強くなり、地域の方に手を添ってもらい電気ドリルやカンナ等本物を使う体験もできた。



木工で机や椅子を作る



手作りの机でお弁当を食べる



廊下でままごと遊びをする

(2) 砂山・土山で遊ぶ

・実施日 平成22年10月18日

運動場に遊びが展開するように、枕木で囲んだ砂山や土山を作り、子どもたちと用具を整備する。



運動場の砂場で遊ぶ

3. 成果と課題

子どもたちは、地域の方の協力を得て木工で机や椅子を作るという園内や家庭ではできない実体験ができ、購入すると高価で1台しか買えない机と椅子を4セット作ることができた。手作りの楽しさや地域の方と共に作る喜びを感じることが出来た。子どもたちは、手作りの机で、お弁当を食べたり、ままごとをしたりして生活や遊びに使っている。遊びがひろがる環境に生かされている。

子どもたちは運動場に砂山や土山ができたことで、運動場で遊ぶ内容が豊かになった。また、木工で作った机・椅子がたくさん出来たことで、自分たちでいろんな場に移動させて、遊びに生かしている。

事業名

「ユネスコスクール」を目指して

目標

奈良の世界遺産のことを良く知るとともに、古都奈良の人々の気持ちを知り、大切に作る心を育てる

1. 取組の視点

世界遺産の薬師寺・唐招提寺が地域内にあり、身近に寺や塔を見ている環境にある。地域の世界遺産を見たり話を聞いたりするだけでなく、かかわることで心に残る体験につながると考えた。

「菜の花プロジェクト」で自分たちが育てた菜の花の油を奉納することで、世界遺産を守ってきた人のことを知ることができると考えた。また、子どもにとって大きな大仏様についてより深く知ること、奈良を誇りに思う心が育つと考えた。

2. 取組の概要

・実施日 平成23年1月31日

全園児（100名）と参加希望の保護者30名・地域の方10名・小学校PTA・NPOの方と一緒にバスに乗り、国立博物館へ行き、国立博物館学芸部長西山厚氏の東大寺の話聞いた。その後、東大寺大仏殿に行き、上司さんの話を聞き、大仏様の台座にあがり、昨年絞った菜の花の油を奉納した。さらに、大仏様に歌も奉納した。



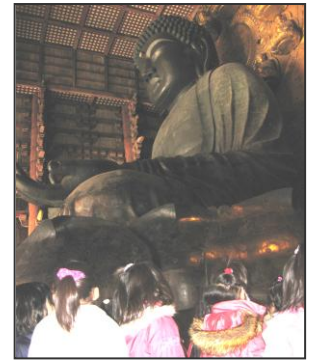
西山先生の話の聞いたり質問したりする



大仏殿の前で話を聞く



5歳児がかいた
大仏様の絵



大仏様の台座で歌を歌う

3. 成果と課題

西山先生の大仏様の話を聞き、大仏様を見ることで、大仏様の6つの鼻の穴や背中にある秘密の扉が見え、興味・関心を持って確かめながら見ていた。その後の絵では、西山先生に教えていただいたことや、実際に見て心に残った長い階段や鼻の穴を6つ描く姿が見られた。

家庭に帰ってから、自分が知ったことを家族に話したい気持ちが高まり、得意げに話したり、知ったことを言葉で家族に伝えるなかで家族みんなを巻き込んで、大仏様を語り合うきっかけとなった。

園児と保護者や地域の方も一緒に参加して頂いたことで、子どもが本物にふれて学ぶ大切さを理解していただく良い機会となった。そして、大人と子どもが共感し合うなかで、世界遺産学習が保護者や地域の方に少しずつ広がってきていることを実感した。

事業名

いきいき輝け！笑顔いっぱい

目標

地域の方など、いろいろな人やものとのかかわりを通して、心豊かでいきいきと活動する幼児を育てる**1. 取組の視点**

近年の少子化・核家族化による生活様式の変化や社会的モラルの低下などから、幼児は入園するまで家庭内で過ごすことが多く、園児・保護者とも人とのかかわり方がぎこちなかったり、苦手だったりする。そこで、地域の方や近隣校園との触れ合いや、いろいろな感動体験が有意義になり、心豊かでいきいきと活動できるような計画を立てた。

また、園児や地域の方などが“幼稚園って楽しいな”“行くのが楽しみ”と思えるような人的・物的環境大切に取組んだ。

2. 取組の概要

年間を通して、様々な年代の人（未就園児・保育園児・小中学生・民生委員・地域の方など）と計画的に触れ合ったり、交流したりできるようにした。

当園は、地域から見えない奥まった場所にあるが、多くの方が来園し、形式ばらずにかかわってくださることで、園児と来園された方の距離は近い。お話ひろばや昔遊びひろばや、子どもまつり・もちつき・こままわしなど家族以外の大人の温かい眼差しや優しい声掛けなど、子どもたちは“無償の愛”をいただき昔からある遊びや行事を楽しむことができた。



同じ校区の伏見保育園との交流会（年3回）は、回を重ねるごとに、幼児同士・幼児と先生も自然な形で

触れ合うことができた。保護者も「保育園の友達ができよかった。」と喜んでおられた。

また、小学校との連携として、子ども同士の触れ合いの他、職員の合同研修・教頭先生の出前保育・「ラジオ体操」の指導なども実施し、子どもたちにとって、小学校が近い存在になった。（特に5歳児は、就学への期待が大きくなった。）

中学生との交流（ふれあい音楽会・職業体験）では、やさしく接してくれる中学生と遊んだり、



演奏を聴かせてもらうことで、中学生に憧れをもった。物的な環境として、明

るい雰囲気になるように玄関に新しく花壇を作った。また、2階テラスに人工芝を敷きなおし、幼児が遊んだり弁当を食べたり、来園者と触れ合える《遊びたくなる》《行きたくなる》居心地の良い場所になった。どちらも子どもたちのお気に入りの場所となっている。

3. 成果と課題

子どもたちは、いろいろな年代の人と触れ合うことで、家庭では味わえない人の温かさや遊びを知ることができ、来園を心待ちにしている。また、地域の方も「幼稚園に来るのが楽しみ。」「子ども達から元気をもらっている。」そして、『子どもは地域の宝』『地域で育てる』と語っていただいている。

今後も、子どもたちが心豊かに成長するように来園者と計画や評価などを話し合い、人的・物的環境を整えていくことを大切にしていきたい。